

## 第三者評価結果

### A-1 保育内容

|   |   | 第三者評価結果 |
|---|---|---------|
| A-1-(1) 保育課程の編成   |   |         |
| 【A1】  | A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。 | a       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な計画には、保育方針や目標、各クラス目標、年齢ごとの養護と教育(5領域)、食育、保護者への支援、地域への支援などを記載している。子どもを優先した考えのもと、保育にかかわる職員が年度末に振り返りを行い、次年度に向けた全体的な計画を作成している。リズム遊びや体操教室など、周りの自然環境を通して体力作りに取り組んでいる。また、園の畑でさまざまな野菜作りを体験して、育てる楽しさや収穫の喜びを味わい、収穫した野菜を使っての給食や調理保育などを楽しんでいる。今年度はコロナ感染症予防のため、毎年行っている地域の方たちとの交流ができないことや、保護者がクラスに入れないなど、様々な制約があり、保育内容も工夫している。</p>                   |   |         |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開  |   |         |
| 【A2】  | A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。                  | b       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>1階には3、4、5歳児の保育室、2階は0、1、2歳児の保育室があり、日当たりも良く、明るい雰囲気がある。窓に遮熱シートを張っている。室内の温度や湿度は、エアコンや空気清浄機を使用して、子どもの状態に合わせて調整している。また、子どもの成長に合わせた机や椅子を使用している。園庭はボルダリングができるスペースがあり、思い切り身体を使って遊ぶことができるよう、遊具を設置している。各クラスの掃除はクラスの担任が行い、共有部分は掃除担当者が随時行って清潔を保っている。園は自然に恵まれ、公園や市民の森などが近くにあり、四季の移り変わりや植物に触れることができる。若い保育士が多いが、さまざまな研修に参加して、子どもたちをどう育てていくか研鑽を積んでいる。</p> |   |         |
| 【A3】  | A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。                         | b       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの家庭環境や状態は、入園時の児童票で基本的なことを把握し、日々の保育の中で、子どもの発育状態や個性を確認して、一人ひとりに関わっている。保育士は各クラス複数担当制をとり、「〇〇を話したが、うまく伝わらなかった」、「私は〇〇のように話したら、伝わった」など、お互いが言葉かけなどを相談し、子どもたち一人ひとりに合った関わり方を見つけている。言葉ではうまく伝えられない0歳児は、保育士が代弁したり、「気持ちいいね、良かったね」など、常に言葉を掛けている。基本的に否定的な言葉は使用しないようにしている。一人ひとりの状態に合った個別指導計画を作成して、保育を行っている。</p>  |   |         |

|  |  |   |
|--|--|---|
| 【A4】   | A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。                      | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>0歳児はこの時期になると、離乳食もミルクも終了し、幼児食に移行している。手づかみで食べようとする時期になると、子どもの気持ちを尊重して、「お手伝いしようね」と話し、自分で食べてもらっている。3歳頃になると、11月の保育参観時に、スプーンを下から持って食べている様子を話し、家庭での箸の使用を保護者に促し、保護者と連携しながら、箸を使う練習をしている。4～5歳になると、食事のマナーや片付けなどの役割もできるよう指導している。おむつをしている子どもはトイレで替え、家庭と連携して、トイレトレーニングを無理なく進めている。全園児、夏場は足裏の感覚を育てるため、園内では靴下を脱ぎ、裸足で過ごしている。3、4、5歳児は、小学校生活を見据えて上履きを使用している。午睡の際は、パジャマに着替えている。どうしても着替えが難しい子どもは、保育士が手伝って一緒に行っている。洋服の着脱やたたみ方は、イラストや写真を用いて、子どもたちが目で見て理解できるようにしている。</p> |  |   |
| 【A5】   | A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。                | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各クラスの棚に、年齢に合ったブロックやアイロンビーズ、絵本、玩具などを置き、子どもたちが自由に選んで遊んでいる。子どもたちは全員、自由画帳とクレヨンを持っているので、お絵描きも好きな時に行っている。園庭には、砂場や滑り台、ボルダリングなどの遊具があり、子どもたちは身体を使って自由に遊んでいる。近隣には自然豊かな公園や、市民の森などがあり、四季折々の葉っぱやどんぐりなどを拾ってきて、共同製作に使用したり、独楽を作っている。小川からザリガニを採ってきて、飼育している。毎年行う作品展はテーマ(一昨年は「雨」)を決めて、クラスごとにいろいろな材料を使って共同製作を行い、保護者に見てもらっている。一時保育室には、体操ができるマットや大型ブロック、室内用滑り台などを置いている。</p>   |  |   |
| 【A6】   | A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。    | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>現在、0歳児は9人在園しているが、離乳食も終了し、幼児食に移行している。離乳食の時は、月齢に合わせ、午前と午後の別献立をたてて提供している。献立表には、エネルギーやタンパク質などの平均栄養も記載し、保護者が確認できるようにしている。現在は幼児食になり、お代りをする子どももいる。今まで、午前寝、午後寝をする子どもがいたが、今は午前はしっかり遊び、午睡ができるようになってきている。午睡の際は、SIDS(乳幼児突然死症候群)対策として、仰向きに寝て、5分置きの呼吸をチェックし、記録に残している。また、担任の保育士との愛着関係を重視し、十分に関わりを持つようにしている。受け入れ時に泣いてしまう子どもは抱っこして、子どもが安心できるまで、保育士が一对一で関わっている。こどもの行動や表情に対し、「すっきりしたね、良かったね」など、常に言葉掛けを行っている。0歳児は月間指導計画の中に、全員の個別指導計画を作成して、発達に合わせた保育を行っている。</p>      |  |   |
| 【A7】   | A-1-(2)-⑥ 1歳以上3歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもたち一人ひとりの育ちに目を向けている。自分で手洗いができた、洋服を着ることができた時などは、「綺麗になったね」、「上手に着られたね」など声をかけ、子どもたちの意欲を伸ばすよう関わっている。合同保育を定期的に行い、散歩に行ったり、お店屋さんごっこをしたり、異年齢での遊びを通して、社会性や協調性を身につけている。ただし今年はコロナ禍で中止している。2～3歳になると、子どもたちは活発になり、イヤイヤの時期にもなり、大変な時期でもある。保育士はイヤイヤも受け止めながら、保育を行っている。保育士だけでなく、調理員や事務員など様々な人と挨拶したり、話をしたりして、人との関わりが持てるよう取り組んでいる。</p>  |  |   |

|  |  |   |
|--|--|---|
| 【A8】   | A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日常生活習慣ができるようになり、子どもたちが自分で取り組むことを増やして、保育士が見守る中で、様々な体験ができるようにしている。また、相手の気持ちが理解できるよう関わっている。「楽しい心」や「うれしい心」、「悲しい心」や「怒った心」などをテーマにして、集会時に職員が寸劇を行い、相手の気持ちを理解できるよう保育している。また、イラストを使って、「貸して」、「いや!」、「いいよ」などの言葉のやり取りを行っている。年長の後半になると、小学校入学の意識も高まってくる。1月の後半から午睡を止め、小学校に向けての一日の流れにしている。長距離の散歩ができるようになったり、体力もついてくるが、静と動の保育を取り入れている。子ども同士のトラブルには、自分たちで解決できるよう、保育士は見守りながら必要に応じて声をかけている。</p> |  |   |
| 【A9】   | A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                | b |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>必要に応じて一対一で関わるなど、安心できるようにしている。また、園児全員がわかるように、一日の流れや収納場所などを絵カードや写真で記している。子どもたちは、友だち同士で助け合うなど、相手を思いやる場面が多く見られている。</p>  |  |   |
| 【A10】  | A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                     | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>18:30～19:00を延長保育としている。延長保育は、遅番の保育士が対応している。各クラス担任から「引き継ぎ簿」による引き継ぎが行われ、子どもの日中の様子や、保護者への伝言などを伝えている。延長保育は、玄関に近い保育室で、合同保育で対応している。現在5人と少ない人数なので、ゆっくりと落ち着く時間としている。</p>   |  |   |
| 【A11】  | A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。          | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育計画の中に、小学校との交流を組み込み、小学校を見学して、ランドセルをしゃわせてもらったり、折り紙を教えてもらったりして、交流している。ただし、今年度はコロナ禍で実施できていない。保育の中では、就学に期待が持てるよう絵本などで読み聞かせをしたり、小学校の話をしたりしている。保育士が地域で行われる「幼保小交流研究会」に参加し、小学校や他園と情報交換を行っている。また、区役所主催の「指導要録研修会」に参加し、指導要録の書き方などの研修を受け、卒園生の「小学校指導要録」を学校に提出している。保護者に関しては、年中時より、就学に向けて少しずつ話をし、年長児には小学校からのお知らせや、学童に関する資料などを提供している。</p>  |  |   |

|   |  |   |
|---|--|---|
| A-1-(3) 健康管理  |  |   |
| 【A12】   | A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。                             | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者には入園時に、「保育園のご案内」や「重要事項説明書」などにより、利用規程や園規程を説明している。必要に応じて配布物にルビを振り、わかりやすくしている。「健康管理マニュアル」や「感染症マニュアル」を整備し、また、保育のマニュアルの中に「朝の受け入れマニュアル」を備え、受け入れ時には、視診により、顔色や表情、全体状態、鼻水、機嫌などを確認している。コロナ禍での保育を考え毎朝、家庭で検温して、「検温チェック表」に保護者が記入している。0、1歳児は、SIDS対策として、仰向きに寝て、5分おきの呼吸チェックを行っている。また、子どもが嘔吐をした時のために、ノロウイルス感染症対策として、各クラスに必要物品を置いている。</p>   |  |   |
| 【A13】   | A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。                        | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>春と秋の年2回、嘱託医による内科健診を行っている。結果は「児童票」に記入している。保護者にはクラスごとに、健康診断の結果、異常がなかったことを掲示して知らせている。歯科検診も年2回実施している。どちらも嘱託医から指摘があった子どもは、個別に保護者に伝えている。歯科検診の後には、5歳児を対象に、歯磨き指導を受けている。人形を使っての磨き方や、子どもたちが実際に「染め出し液」を使い、汚れを鏡で確認しながら歯磨きの練習をするなど、指導を受けている。また園内に、正しい歯の磨き方のポスターを掲示し、子どもたちに歯磨きの大切さを伝えている。</p>  |  |   |
| 【A14】   | A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>アレルギーのある子どもは、医師の指示に基づき、栄養士と連携して、別献立で除去食を提供している。現在、アレルギーによる除去食の子どもはいないが、アレルギー児やハラル食に対応する場合は、保護者には別献立の献立表を渡し、代替え食を連絡している。提供時には、調理員と保育士の確認後に配膳している。誤配膳がないように、一人テーブルで別トレイで提供している。職員がアレルギーの研修会に参加して、アレルギーに対する知識を得て、間違いのないよう対応している。</p>  |  |   |
| A-1-(4) 食事  |  |   |
| 【A15】   | A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している。                          | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育マニュアルの中に、こどもたちが楽しく食事を摂ることができることを記載している。食事への配慮として、安全で安心な食の提供もうたっている。調理は委託業者が入っている。「食育だより」などで、栄養士が季節にあった食の大切さや、子どもの食事の様子などを、保護者に知らせている。子どもたちには、電車のイラストを使い、赤い食べ物、黄色の食べ物、緑の食べ物の話を、クイズ形式で出して指導している。園庭の畑だけでなく、広い畑が近くにあり、大根やスナップエンドウ、トマト、キュウリ、サツマイモ、人参、オクラなど、沢山の苗を子どもたちが植え付け、育てている。子どもたちが収穫物を給食室に届け、給食に出してもらおうようお願いして、調理してもらっている。苦手な食材も、自分たちで作ったものだから食べてみたと言う子どももいる。保護者向けに、今日の食事のサンプルを展示している。</p> |  |   |



|  |           |                                 |   |
|--|-----------|---------------------------------|---|
| 【A16】  | A-1-(4)-② | 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | b |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>季節ごとに旬の食材を使用して、子どもたちがおいしく、安心して食べられるよう献立を考えている。乳児は誕生日当日に一人ひとりお祝いし、幼児クラスは月の最終週にその月の誕生会を行っている。幼児の誕生会の日に、全園児におやつでケーキを提供している。クリスマス会には唐揚げやポテトサラダで作ったツリー、七夕にはそうめんなど、行事食を取り入れて献立を工夫している。郷土料理や外国の料理なども献立に入れ、子どもたちがおいしく食べている。また、骨があると危険なので、サンマなどは骨を取って提供している。おやつに提供していた白玉は、のどに詰まらせる危険があるので、提供を中止している。トウモロコシを丸ごと提供したところ、食べ方がわからない子どもがいたため、トウモロコシの食べ方も練習している。月1回、委託業者と園で給食会議を行っていたが、コロナの関係で状況を見ながら開催している。</p> |           |                                 |   |

## A-2 子育て支援

|  |           |  | 第三者評価結果 |
|--|-----------|--|---------|
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携  |           |  |         |
| 【A17】  | A-2-(1)-① | 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。                | a       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者との連絡は、0、1、2歳児は毎日の連絡帳と、登降園時に口頭で、情報を交換している。怪我や熱発などがあつた場合は、電話で連絡している。3、4、5歳児は、シールノートに、登園した時に登園シールを貼っている。主に、登降園時に口頭で、情報を交換している。毎月の園の便りで、クラスの様子などを伝えている。今年はコロナ禍により、玄関前で子どもを預けているため、ゆっくりと情報交換ができない状態である。個人面談や懇談会もコロナの関係で開催できないため、書面での連絡が多くなっている。</p> |           |  |         |
| A-2-(2) 保護者等の支援  |           |  |         |
| 【A18】  | A-2-(2)-① | 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。                   | b       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園全体のことに関する保護者の相談は園長が対応し、子どものことに関してはリーダーが対応している。保護者の相談は、友達と遊んでいるか、食事は食べているか、言葉の遅れが気になるなど、身近なものが多い。相談内容は記録し、保育士間で共有している。また、保育士が「保護者支援」についての研修会に参加して、保護者が安心して子育てができるよう、専門的な知識を持って関わるよう努めている。</p>   |           |  |         |
| 【A19】  | A-2-(2)-② | 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | b       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>登園時や着替えの際、身体全体に傷やアザがないか確認している。気になることがある場合は、主任、園長に相談後、マニュアルに沿って動くようにしており、職員間で情報共有し、対応している。</p>   |           |  |         |

A-3 保育の質の向上

|   |   | 第三者評価結果 |
|---|---|---------|
| A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)  |   |         |
| 【A20】   | A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | b       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各クラス、子どもの午睡時に毎日の反省を行っている。週1回、フロア会議を行い、乳児・幼児クラスの振り返りを行っている。また、リーダー会議では、保育の反省や課題を話し合い、次の月案に反映するようにしている。保育士全員が、自分の保育のあり方を自己評価表にまとめ、年度末に提出している。主任との面談後、園長と法人の理事長が内容を確認している。また、園全体の自己評価表の集計結果は、玄関に掲示して保護者に伝えている。保育士全体で、意識の向上に努めている。</p> |   |         |